

南相馬市博物館 企画展

相馬最後の御用絵師
堀池雲岳をめぐる世界 (仮)

平成18年 9月30日(土)~12月3日(日)

みなさん、堀池^{うんがく}雲岳という人をご存知でしょうか。

江戸時代、奥州中村落には、藩に仕え、その命により絵画を制作する画人(御用絵師)がいました。雲岳もその一人と思われます。彼は本名を堀池^{ときすみ}時澄といい、天保13年(1842)中村城下(現在の相馬市中村)に生まれました。明治維新となり御用絵師の職を失うと、信田沢村(現在の南相馬市原町区信田沢)に移住し、そこで大正10年(1924)81歳で亡くなるまで、駒の絵を中心に多数の作品を遺しました。

今回、雲岳の作品を通して彼の足跡をたどりながら、信田沢村をはじめ付近の多くの人々に親しまれていたことを紹介します。また、戦国および江戸時代に活躍した福島ゆかりの画人や雲岳以外の藩の御用絵師など藩ゆかりの画人の作品を紹介し、そこから幕府の絵師狩野派に師事したとされる雲岳に対して絵師として再評価します。

※企画展開催中、講演会及び展示解説会を実施する予定です。

(日時未定)

観覧料	一般	500円	(400円)
	高校生	200円	(150円)
	小中学生	100円	(80円)

※()内は団体料金

市内に居住・通学する小中高生は無料です。



堀池雲岳画 駒図襖絵 (一部)

相馬小高神社所蔵



15万人目のお客様・清水さん(中央)

おかげさまで入館者 **15万人**突破

平成18年4月18日(火)、平成7年に開館して以来、記念すべき15万人目のお客様がおいでになりました。

15万人目となったのは千葉市の清水美智子さんで、友人5人と団体ツアーでご来館いただきました。

15万人目の清水さんと、前後のお二人には記念品が贈呈されました。

企画展

南相馬と『近代文学』

9月3日(日)まで開催中 入場無料

南相馬ゆかりのある文学作家の埴谷雄高と島尾敏雄のほか、合併したことにより評論家として活躍した鹿島町ゆかりの荒正人が加わるようになりました。

三者の共通点は、『近代文学』という戦後すぐに発行された同人誌の同人であるということです。南相馬から、『近代文学』に直接たずさわった人物が3人も輩出されていることは、文学界ではとてもめずらしいことです。

合併して最初の企画展です。南相馬にゆかりのある『近代文学』の人物のアウトラインを紹介していますので、ご来場ください。



荒正人

大正6(1912)年、南相馬市鹿島区生まれ。本籍地相馬市中村。教師だった父親の任地の都合で、千葉県小御門村(現香取郡下総町)、山形県新庄町(現新庄市)、長野県篠井町(現中野市篠井)、鳥取県などを転々とし、大正14年、徳島中学校入学、昭和2年に鳥取第一中学校へ転校。昭和5年、山口高等学校文科甲類入学。学内の政治運動に熱中し、学内新聞を編集する。1か月近く警察に留置され、無期停学となる。昭和8年に無期停学が解け、復学する。敗戦とともに小田切秀雄、佐々木基一、埴谷雄高、平野謙、本多秋五、山室静らと雑誌『近代文学』の創刊を企画。翌昭和21年1月『近代文学』を創刊する。また、文学新聞『文芸時評』を創刊した。

昭和28年ごろから夏目漱石の研究に集中し、「漱石文学の物質的基礎」、「漱石の暗い部分」など一連の画期的な論考を執筆する。これらの成果は、『漱石文学全集』、『増補改定漱石研究年表』となっている。その後、昭和41年ごろから糖尿病を患うも、積極的な評論活動を行う。しかし昭和54年、糖尿病によるこん睡状態で入院し、一時は回復するも、病室で『漱石研究年表』とペンを手にしたまま意識不明になっているのを発見され、6月9日、脳血栓にて永眠する。

相馬地方の恐竜時代探検

7月22日(土)~10月31日(火)

入館料 大人110円(団体は20名以上半額) 中学生以下無料

鹿島区は古生代・中生代・新生代の特徴的な化石が産出する貴重な地域です。いろいろな化石が見つかり地球の歴史を感じることができます。その化石から地球を見てもらい、特に小中学生に化石を間近に感じて化石に興味を持ってもらいたいと思います。

福島県最古の化石を産出する合ノ沢層・古生代デボン紀後期(今から約3億6500万年前)の腕足類化石、中生代ジュラ紀後期(今から約1億6000万年前)の地層より産出した恐竜の足跡化石、海竜の歯化石、アンモナイト化石など、相馬中村層群研究会が中心となって調査研究した標本を中心に展示します。

また、鹿島区には少年少女化石探検隊が組織され、その活動の実績も展示します。



アンモナイトの化石(鹿島区産)



恐竜の足跡(信田沢産)

常設展示室 ミニテーマコーナー

結ぶ・包む

平成 18 年 7 月 4 日(火)～10 月 1 日(日)

紐結びや包み紙について記した江戸時代の礼法(小笠原流)に関する文献をはじめ、冠婚葬祭の品々に用いられる水引、野馬追に出場する武者たちが身につける甲冑・陣羽織などに用いられる紐結びなどの、日本の伝統的な結ぶ・包むといった文化を紹介します。



甲冑に用いられる結び(左)
勢多文書の一部 包み紙の見本(右)



エントランスホール展示

国指定史跡「浦尻貝塚」の「貝層はぎ取り断面」を展示しています



はぎ取りのようす

平成 18 年 6 月 28 日(水)より、展示中

浦尻貝塚は、今から約 5700 年前～3000 年前の 2000 年間以上続いた大きなムラであることが分かりました。

『貝塚』とは、当時のゴミ捨て場ですが、やがて山(塚)のようになったものという意味です。

今回展示の「はぎ取り断面」は、貝塚の貝層を強力な“のり”を布に接着してはぎ取ったものです(290×320cm)。

この断面には、浦尻の縄文人が食べた貝がら・動物・魚の骨などの食べかすや土器・矢じりなど多種多様な生き物や道具があり、縄文人が何を食べてどんな道具が使っていたのかがわかります。



わたし浦尻貝塚の「うらこちゃん」❤️
わたしの友達・縄文人は何を食べたんだろ？
博物館でたしがめてみてね。



出土遺物



木をロクロにつけて、頭の下部を削る(高橋通氏)

職人の手仕事① こけし工人

平成 18 年 9 月 1 日(金)～10 月 31 日(火)

こけしは東北地方特有の郷土玩具で、ロクロ引きで手足を省略し、円筒形の胴に球状の頭をのせた木製の人形です。

福島県では土湯こけしが有名ですが、土湯系鱒湖型(飯坂温泉)の流れを汲む、南相馬市原町区のコケシ工人親子三代の技とこけしの素朴な美しさを紹介します。

南相馬市博物館の催し物

※申し込みはお早めに。定員になり次第締め切ります。
問合せは 南相馬市博物館 0244-23-6421

期 日	タイトル	詳 細
7月29日(土)	体験学習 「昆虫教室」	10:00~12:00 定員 20名 講師 久保隆氏・三田村敏正氏 市内の野山で、いろいろな昆虫をつかまえよう!! 【持ち物】アミ、虫かご、帽子、水とう、タオルなど。
8月5日(土)	体験学習 「勾玉づくり」	10:00~12:00 定員 30名 講師 佐藤祐子学芸員 縄文時代から使われている勾玉の歴史を学びながら、実際に勾玉を作ります。 【持ち物】タオル・えんぴつ・蛍光ペン 【材料費】250円
8月19日(土)	博物館講座 「堀池雲岳」	13:30~15:30 講師 水久保克英主任学芸員 明治から大正にかけて駒絵を描いた、中村藩最後の御用絵師・堀池雲岳を紹介します。
9月16日(土)	博物館講座 「南相馬の近代②」	13:30~15:30 講師 今村昭司館長 「歴史は本町から」-旧原町近代は、エネルギーが「雲雀ヶ原」へ広がる歴史という試論です。
9月30日(土) 10月1日(日)	体験学習 「石包丁を作ろう①・②」 ※2回連続講座です	①9月3日は13:30~16:00 ②10月1日は9:00~12:00 定員 20名 講師 福島県文化財センター白河館職員・佐藤祐子学芸員 地元産の粘板岩を採集して、石包丁を作ります。
10月9日(月) 体育の日	民話の世界	10:00~12:00 語り部: 穴澤修子氏・菅野清二氏 会場: 博物館 講座「昔話と方言」 講師: 小林初夫氏 相双地方や県内に伝わる民話を聞き、昔話と方言について学びます。
10月15日(日)	相双管内史跡めぐり	9:00~12:00 定員 26名 講師 当館学芸員 相双管内の史跡・神社仏閣をめぐり、相双地区の歴史について学びます。
10月21日(土)	博物館講座 「古代・鉄をつくる」	13:30~15:30 講師 佐藤祐子学芸員 古代の製鉄技術や、浜通りの製鉄遺跡について紹介します。
10月29日(日)	体験学習 「化石採集」	13:30~15:00 定員 20名 講師 平宗雄氏(相馬中村層群研究会) 予定 南相馬市内に分布する地層から、化石を採集します。 【持ち物】軍手・新聞紙・ビニール袋 ※前日16:00より事前説明会を予定。必ずお申し込みの上ご参加ください。
11月4日(土)	体験学習 「わらそうり作り」	9:30~12:00 定員 20名 講師 佐藤秀氏 わらそうりを作り、自給自足の時代のくらしと、わらを使った生活用具について解説します。
11月18日(土)	博物館講座 「南相馬の小川の生き物」	13:30~15:30 講師 稲葉修学芸員 南相馬の小川の生き物について、実物・レプリカなどで紹介します。
12月9日(土)	博物館講座 「福島のサンショウウオ」	13:30~15:30 講師 稲葉修学芸員 福島の4種のサンショウウオについて紹介します。
12月10日(日)	体験学習 「自然工作教室」	10:00~12:00 定員 20名 講師 渡部恵美氏 野山のドングリ、木の枝などを使って、飾りものやリースを作ってみませんか。

「古文書解説講座」【初心者向け】

8月6日・9月3日・10月8日・11月5日・12月3日

南相馬市にかかわる江戸時代の古文書を実際に解説し、当時の様子を学びます。今回のテキストは、幕末の「異国船渡来」に関するものです。 13:30~15:30 定員 20名

◆企画展記念事業 観覧無料

古武道演武—相馬のさむらいたちの武芸—

と き 8月20日(日) 午後1時30分~

と ころ 県立東ヶ丘公園 西側芝生広場(博物館前)

相馬に伝わる「白置流印西派弓術」「大坪流馬術」の他、相馬にゆかりの武芸の演武をおこないます。

各館のご利用案内

埴谷島尾記念文学資料館(浮舟文化会館内) 問合せ 7979-2124 小高区本町二丁目89-1 TEL:0244-44-3049 FAX:0244-44-1266
E-Mail: o-chiikikyoiku@city.minamisoma.lg.jp

開館時間 9:00~17:00 休館日 年末年始(12月29日~1月3日) 観覧料 無料

鹿島歴史民俗資料館 問合せ 7979-2442 鹿島区西町三丁目1 TEL:0244-46-4281 FAX:TELと同じ
E-Mail: k-shiryokan@city.minamisoma.lg.jp

開館時間 9:00~16:30 休館日 第3日曜とその前日。祝・休日。年末年始(12月29日~1月3日)

観覧料 大人110円(団体は20名以上半額) 中学生以下無料

南相馬市博物館 問合せ 7975-0051 原町区牛来字出口194 TEL:0244-23-6421 FAX:0244-24-6933
E-Mail: hakubutsukan@city.minamisoma.lg.jp

開館時間 9:00~16:45(最終入館は16:00まで)

休館日 毎週月曜日および年末年始 ※月曜日が祝・休日、相馬野馬追期間中などの場合は開館、その翌平日が休館日となります

観覧料 一般300円(250円) 高校生200円(150円) 小中学生100円(80円) ()は20名以上の団体料金です。

※企画展開催中は観覧料が異なることがあります。市内に居住・通学する小中高生は無料です。障がい者の方は無料です。(手帳をご提示ください)